

2021年度岩手大学環境目的、目標及び活動計画

IE1-5-1
最終改定日
2021.6.24

環境方針等	EA21 要求事項	環境目的	環境目標	活動計画	行動の 責任部署	監視測定 責任部署	
I.キャンパス環境 の改善		サステナブルキャンパスの構築を図る。	岩手大学独自の環境マネジメントシステムの構築を図る。	1. エコアクション21やISO14001のマネジメントシステムを参考にした岩手大学独自の環境マネジメントシステムの構築を検討する。	EMS推進室	EMS推進室	
			キャンパス環境の改善を図る。	2. オオハンゴンソウの防除を進める。	対象部局 ユニット		
II エネルギーの使用	二酸化炭素排出量の削減 (省エネルギー)	エネルギー使用及びCO2排出量の削減を図る。	エネルギー使用の削減を図るとともにエネルギー別に年間使用量のベースラインの検討を図る。	1. エネルギー別に過去10年間の毎月の使用量の変化を検証する。	EMS推進室	EMS推進室	
				2. 過去3年間の契約電力の超過状況を検証し、デマンド警報の設定および周知方法を検討する。	施設課 経理課 EMS推進室	EMS推進室	
				3. キャンパスカーボンニュートラルに向けた取組みについて検討する。	EMS推進室	EMS推進室	
				4. 電力管理システムの再構築を継続し建物別電力使用量の見える化を進める。	施設課 EMS推進室	EMS推進室	
III, 資源の使用	用紙使用の削減	資源使用の削減を図る。	用紙使用量の削減を図り、部局別の用紙使用量のベースラインを検討する。	1. EMS事務局がユニット別にコピー用紙の購入量を算出し、前年度と比較する。 2. リース複合機の使用状況を確認し、前年度と比較する。	EMS推進室	EMS推進室	
	総排水量削減 (節水)		前年度水道使用量の維持を図り、部局別に使用量のベースラインを検討する。	1. 毎月の水道使用量をユニット別に算出し、前年度と比較し、推進室会議時にユニットに通知する。	全ユニット	環境影響評価 WG	EMS推進室
	化学物質使用量削減		化学薬品の購入量を抑制する。	1. 化学薬品の購入者に対して、必要最小量の購入の呼びかけを行う。	安全衛生 管理室	EMS推進室	
IV. グリーン購入	グリーン購入	岩手大学グリーン調達方針に基づく調達を行う。	環境配慮型製品を優先的に購入する。	1. 年2回、岩手大学における「環境物品等の調達の推進を図るための方針」に基づき製品の購入を行うよう周知する。	全ユニット	EMS推進室	
V. 廃棄物等の排出	廃棄物排出量の削減 (リサイクルの推進)	廃棄物排出量の削減を図る。	リサイクルの推進に向けた取組みを行う。	1. ゴミ分別についての周知・分別調査を継続し、結果を推進室会議で報告する。	EMS 学生委員会 EMS推進室	EMS推進室	
				2. ゼロエミッションに向けた取組みを検討する。	廃棄物削減 WG	EMS推進室	
				3. ゴミ分別を徹底するよう周知する。(ペットボトルの蓋とラベルの分別の徹底、水銀含有物を含んでいないかのチェックの徹底)	EMS 学生委員会	EMS推進室	
				4. 不要な物品・什器類・備品の学内リユースに努め長期使用を進める。	EMS推進室 全ユニット	EMS推進室	
VI, 環境教育 環境人材教育	環境に関する教育 (環境人材の育成)	大学における環境教育・環境人材育成を推進する。	環境教育・研修の推進を図り、全学で「持続可能な共生社会に寄与する環境人材育成」を進める。	1. 実験廃液を排出する研究室の学生を対象に、正しい廃液の区分と運搬に関する教育を実施する。	安全衛生 管理室	EMS推進室	
				2. 環境に大きな影響を与える項目や原因について構成員が自覚するための環境教育計画・活動を検討する。	環境教育WG	EMS推進室	
				3. 前年度に引き続き環境マネジメント学生委員を対象に「環境方針」「環境目的・目標及び環境活動実施計画」についてのアンケートを実施し、比較する。	EMS事務局	EMS推進室	
		附属学校における環境学習の充実・発展を図る。	附属小学校では、「総合的な学習の時間」等を活用し、自然観察や地球温暖化の学習など環境について学ぶ場を創る。また、委員会やたてわり活動を通して、環境に配慮した活動を行う。	1. 花の栽培や野菜作りでの水やりや草取りなどの世話をする。それらを通して、自然の美しさ、豊かさ、不思議さなどに気づいたり、生長する様子に関心をもったり、命の大切さを感じたり収穫の喜びを味わったりする。	附属幼稚園	当該ユニット 責任者	
				1. 総合的な学習の時間に3年「わたしたちの中津川」の単元で、中津川と自分たちの生活とのかかわりについて学ぶ。中津川の自然を観察したり、水質調査や街路樹調べを行ったりしながら、環境問題について考える学習を行う。	附属小学校	当該ユニット 責任者	
				2. ボランティア委員会等の活動として、学校周辺や加賀野地下道のゴミ拾い、冬季の除雪作業などを行う。 3. 2年生「小さな旅」、5年生「林間学校」の学習の中で、自然環境の大切さや、よりよい環境を維持するための取組を知る。6年生理科「私の環境宣言」では、これまでの学びを生かして「環境に及ぼす影響を少なくする取組み」「環境を守るための取組み」「地球の活動によって受ける影響を少なくする取組み」の3点について、新聞にまとめる学習を行う。	附属小学校	当該ユニット 責任者	

VI. 環境教育 環境人材教育	環境に関する教育 (環境人材の育成)	附属学校における環境学習の充実・発展を図る。	附属中学校では、環境を守りはくくむ心と感受性を育て、環境美化活動、エネルギーの節約等に配慮した生活・行動を実践できるよう指導する	1. 授業において環境教育を取り入れる。道徳や理科を中心に学び、心を育てる。	附属中学校	当該ユニット責任者
				2. 日常での清掃活動の見直し、及び節電・節水を推進する。	附属中学校	当該ユニット責任者
				3. 生徒会活動による校地及びその周辺の清掃・環境美化活動。	附属中学校	当該ユニット責任者
				4. ボランティア委員会による附属幼稚園等の清掃・環境美化活動。	附属中学校	当該ユニット責任者
		学生の自主的な環境保全活動を推進する。	附属特別支援学校では、作業学習等で使用する原材料のリサイクル化を推進するとともに、委員会活動や生徒会活動における資源回収を通して環境活動を実施する。	1. 廃油を活用した「リサイクル石けん」や地域のりんご園等から提供された材料を使った「クラフト製品」は、中学部の作業学習で取り組む。	附属特別支援学校	当該ユニット責任者
				2. 空き缶、古新聞等の「資源回収」は全校に呼びかけ、中学部の委員会活動で取り組む。	附属特別支援学校	当該ユニット責任者
		3. 高等部エコ委員会の活動で、ペットボトルキャップ回収の呼び掛け、回収、洗浄を行う。	附属特別支援学校	当該ユニット責任者		
		EMS学生委員会では環境活動を積極的に実施する。	EMS学生委員会	EMS推進室		
VII. 環境関連研究	研究及び地域や社会への還元	大学・大学院における環境関連研究を推進する。	各学部・研究科の特色を活かした環境関連研究を推進する。	1. 高齢被災者による太陽光パネル市民共同発電所の設置・運営と中小企業(団体)のエネルギーシフト・ウェンデ運動に基づく持続可能な地域社会の形成要件・メカニズムを検討する。	人文社会科学部	EMS推進室
				2. 学部・研究科における環境関連研究を推進する。	教育学部	EMS推進室
				3. ソフトパス理工学総合研究センター及び学部・研究科における環境関連研究を推進する。	理工学部	EMS推進室
				4. 農学部における環境関連研究を推進する。	農学部	EMS推進室
VIII. 構内事業者の取組		構内事業者の環境配慮活動の推進を図る。	放送大学岩手学習センターにおいて環境に配慮した取組を実施する。	放送大学岩手学習センター	当該ユニット責任者	
			プラスチックごみの削減に努める。	岩手大学生協	当該ユニット責任者	
IX. 地域社会に対する取組	社会貢献	三陸沿岸地域の環境産業の振興を図る。	持続可能な漁業に向けた取組を行う。	1. 三陸沿岸において海洋プラスチックごみに関する調査を行う。	釜石キャンパス	EMS推進室
X. 法規制順守		環境に関わる法規制を遵守する。	自主運営に向けた環境関連法規制遵守評価方法を検討する	1. 法規制評価WGで、これまでの遵守評価状況を確認しつつ、自主運営に向けた環境関連法規制遵守評価方法を検討する。	法規制WG	EMS推進室